



つなぐ

4北病棟 私たちの看護

— 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 —

地域医療支援病院として、高度急性期から在宅看護に至るまで幅広く、かつ、質の高い看護を提供する聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院看護部。大学病院としての教育機能を活かし、人材育成にも力を入れています。今回は、とりわけ横浜市西部病院らしさがある「4北病棟」の看護を紹介します。



WEB「FLAP! ナビ」では…

本誌面でご紹介する看護師さんに加え、新人を含む4名の看護師さんのインタビューを掲載。「つなぐ看護」をテーマに、実際のエピソードを交えて語っていただきました。

他部署・他職種との強い連携で、チーム医療を実践！

他部署・他職種との連携が強いのも、4北病棟の強みです。手術室の看護師とは術前・術後に患者さんの情報を共有しますが、送り出す際にはバイタルサイン「+α」の情報、例えば昨夜は緊張してあまり眠れなかったようだとか、患者さんがこんなことを呟いていたなどの情報も提供するようにしています。病室に戻る際にも、手術中やリカバリールームの様子を細かく伝えてもらえるので、その後のケアやコミュニケーションにとっても役立っています。また、少しでも気になることがあれば管理栄養士やリハビリの先生、認定看護師、ソーシャルワーカーなどに随時相談しています。一緒に問題を解決しようとしてくださる方ばかりで、病棟にも頻りに足を運んでくださり、まさにチーム医療を行っている実感があります。

手術室と病棟をつなぐ

最善のケアを目指してつなぐ看護

「協調・拡張・大成」で、より良い看護の実践を目指す

患者さんに最善のケアを提供することを目標に、4北病棟ではつながり合うことを大切にしてきました。今年度は「協調・拡張・大成」を目標に掲げ、私の世代が中心になって業務改善にも取り組んでいます。例えば、セル看護やPNSにより情報共有がペア内で完結しないよう、職場全体の情報共有やチームワークが維持できるよう、これまで以上に積極的にカンファレンスを行っています。少しでも気になったことや困ったこと、感じたこと、伝えたいことがあればその日のうちに場を設け、全体でシェアしています。自分が経験したことだけでなく、他

の看護師が経験したことや学んだことまで拡張して吸収できますし、いろんな見方や看護観を知ることができるので、とても充実した時間になっています。

今年はコロナ禍の影響で集合研修や勉強会が難しい状況ですが、現場での実践のなかで「このケアやったことない人いる？」「私、やってみたいです！」「などと声が上がって、先輩が先輩と一緒に経験しながら学べる場が自然発生的に生まれています。これも、互いに助け合い高め合おうという意志のある4北病棟ならではのです。今年は実習やインターンシップが思うようにできていない学生さんも少なくないと思いますが、ぜひ、安心して飛び込んでほしいと思います。

みんなが笑顔！ 4北病棟の働きやすさの 秘訣をお教えします！

「4北病棟のみんなが大好き！」という
8年目ナースの親川さんに、
4北病棟の看護について語っていただきました。

4階北病棟（消化器・一般外科、
形成外科、皮膚科、泌尿器科）
親川 未穂 さん
8年目

思いやりつながり支え合う心が 質の高い看護を実現する

思いやり助け合う精神が
浸透する、成長できる病棟

4北病棟は混合病棟で、外科手術前後の患者さんやがん患者さんが多くいらつしやいます。患者さんのなかには緊急手術になり手術することを受け入れられない方などもおられ、精神的な部分のケアやサポートが重要になるのも本病棟の特徴です。

思いやり・助け合いの精神が浸透し、みんなが自然と協力できているのが4北病棟の自慢です。1〜4年目の若い看護師が半分ほどを占めるフレッシュな職場で、「大丈夫？」「何か手伝えることありますか？」「今、ちよつと手を貸してもらえますか？」などお互いを気遣い、先輩・後輩に係なく声をかけ合い協力し合う雰囲気醸成されています。医師の先生との関係性もとても良く、風通しの良い働きやすい職場です。

また、当院では今年から「セル看護提供方式」と「パートナーシップナースングシステム（PNS）」を導入しています。セル看護提供方式とは、看護師1人が3〜4名の患者さんを担当し、ケアの指示受けから実施までをすべて担う方式のこと。看護師は基本的に病室に常駐してケアを行うため、よりきめ細やかなケアが可能になりました。また、チームナースングのときよりも看護師の負担が減り、残業時間も削減されました。一方、PNSとは、看護師が2人1組で患者さんを担当する方式のこと。患者さんの情報や業務の状況を共有し、協力してケアにあたることで、業務全体がとてもスムーズに進むようになりました。お互いのケアや声かけの様子を見ることができ、や学びも多く、成長の機会にもつながっています。

もっと知りたい 4北の魅力！♡

メンバーがみんな とにかく優しい！

どのスタッフに聞いても、「みんなすごく優しい」と答える4北病棟。「先輩に優しくしてもらったから、自分も後輩に同じようにしたい」と感じている人が多いんです。

困っている人は 絶対見逃さない！

自分の業務が終わったら、他の人に「何かできることある？」と声をかけ、手伝うのはいつものこと。自分が困っているときにも、素直にSOSが出せる空気があります。

共に学び成長 するのが好き！

自分が学んだことや経験したことを共有したり、成長しようと頑張っている人を応援したり、みんなで高め合おうという向上心あふれるのが4北病棟。思い切ったチャレンジもできます！

Hospital Data

聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
〒241-0811
神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1
TEL 045-366-1111(代)【担当/看護部】
URL <https://seibu.marianna-u.ac.jp/>

Hospital Information

オンライン就職説明会を開催
2021年1/30(土)、2/11(木)・25(木)
※詳細、申し込みは看護部 HP より

看護部の魅力を伝える

紹介動画を公開中！

ぜひご覧ください

